

憲法の基本を壊す

憲法96条の改悪を許すな

施行から68年。国民が守ってきた日本国憲法を、いま自民党、維新の会などが根本からくつつがえそうとしています。憲法のあり方を変えてしまう重大な問題です。

日本共産党

主権者である国民が国家権力を縛る

—この本質を変えるのが96条改悪—



「世界と比べ日本の憲法変えづらい」はウソ

各国の憲法改定の手続き	
日本	衆参各院の3分の2以上の賛成+国民投票
アメリカ	各院の3分の2以上の賛成+4分の3以上の州議会の承認(他の手続きもある)
フランス	各院の過半数の賛成+両院合同会議の5分の3以上の賛成(他に国民投票を経る手続きあり)
ドイツ	連邦議会の3分の2以上の賛成+連邦参議院の3分の2以上の賛成
韓国	国会の3分の2以上の賛成+国民投票

※衆院法政局資料から作成

憲法96条の改定は、「手続き論」にとどまらない重大な危険をもつものです。

憲法は、国家による権力の乱用から国民の自由を守るものです。だからこそ、改憲の要件も、時の権力者の都合の良いように憲法を改定することが難しいようにされています。

日本の憲法は、“世界でも特別変えづらい”ということがいわれますが、これはウソです。左表のように各国の改定も厳しいものになっています。憲法96条の規定を変えて、通常法律と同様の『過半数』ということになってしまったら、憲法が時の権力者の都合の良いように簡単に変えられてしまうことになります。

日本共産党は、こうした96条改悪に反対し、96条をはじめ憲法の全条項を守り、日本の政治にいかすために全力を尽くします。

ねらいは憲法9条の改悪

日本の憲法は、9条をはじめ基本的人権の尊重など、世界に誇るべき内容をもっています。憲法96条改定のねらいは、改憲派の最大の目

標である憲法9条改定に向けて、そのハードルを低くすることです。国民に改憲の体系を積み重ねることで改憲に「慣れ」させることにあります。



憲法9条生かし、アジアと世界から信頼される国に



参議院議員

紙 智子



国政相談室長

森つねと

憲法9条は、日本が二度と再び侵略国にならず、世界平和の先駆になるという「国際公約」です。世界とアジア、日本の平和の思いが凝縮し、結晶した宝が憲法9条です。この憲法を政治にいかし、たくさんの生きる権利すらまともに保障しない今の政治を変えるために、日本共産党は、全力をあげます。



ほっかい新報

2013年4・5月号外
発行所/ほっかい新報社
〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
電話(011)726-4858
(昭和40年8月10日第三種郵便物認可)

日本共産党北海道委員会の活動を紹介します。
ご意見をお寄せください。
日本共産党北海道委員会 011-746-1151